

「わかば」ヤングケアラー講演会

ヤングケアラーを救え！ 今、あなたにできること！

8/7 (金)

時 間：14:00～16:00(受付13:30～)

場 所：宮崎県企業局庁舎1階 県電ホール (宮崎市旭1丁目2-2)

定 員：会場50名、オンライン(zoom)100名

対象者：行政職員、学校教育・支援機関関係者、保護者、
およびテーマに関心がある一般の方

参加費
無料

申込

下記URLもしくは二次元コードよりお申込みください

<https://forms.gle/EtJp88jfnskjeSLC8>

FAXでの申し込みを希望される場合はご連絡ください。

FAX申込用紙をお送りいたします。

申込締切：2026年7月31日(金)



主 催：宮崎県福祉保健部／宮崎県子ども・若者総合相談センター「わかば」

後 援：宮崎県教育委員会／宮崎県市町村教育委員会連合会

NHK宮崎放送局／MRT宮崎放送／UMKテレビ宮崎／宮崎日日新聞社

第一部(70分)



松田 駿太氏 (元ヤングケアラー)

～ヤングケアラーとして生きた経験と今～

※沖縄タイムス社編集局
東京報道部記者

第二部(30分)



宮崎北高等学校放送部

～高校生が見たヤングケアラーの現実～

※第72回NHK杯高校放送コンクール
ラジオドキュメント部門「準優勝」



日本の
ひなた
宮崎県

宮崎県委託事業

宮崎県子ども・若者総合相談センター「わかば」

TEL:0985-41-7832 (お問い合わせは10:00～17:00※木・日・祝日を除く)

受託事業者：株式会社アソウ・ヒューマニーセンター

ヤングケアラー講演会 講演内容

第一部 ～ヤングケアラーとして生きた経験と今～	第二部 ～高校生が見たヤングケアラーの現実～
・ヤングケアラーの体験談 ・ヤングケアラーとして気づいた今の思い ・ヤングケアラー支援への提言	・作品名「永遠の課題」を通じたヤングケアラー取材の内容 ・準優勝のラジオドキュメントの音声発表
2021年度にヤングケアラーとして生きた経験を、新聞に「見つめてヤングケアラー」として連載。 両親が離婚した1歳から、母と二人暮らし。小学2年生のころ、母は職場での人間関係悪化が原因でうつ病を患い、病休を経て退職。 それから大学卒業までの14年間母の闘病を一番近くで見てきた。明るく社交的だった母が、後ろ向きな言葉を発するようになり、処方される薬の量も増えていった。夜、眠りにつく前、10錠ほどの薬をしっかりと飲んだか確認することが日課になった。 ※沖縄タイムス社連載 「見つめてヤングケアラー」より一部抜粋。	「ヤングケアラーは特別な誰かじゃない」私たちは番組制作を通して、このことに気づきました。取材を通して強く感じたのは、誰もがこの問題に気づきにくいということです。当事者自身は自分がヤングケアラーなのか分からない、周囲に相談していいのか分からないと悩んでいることがあります。また、周囲の大人や先生も踏み込んでいいのか、自分が関わっていいのかと悩み、声をかけられない状況があります。今回の講演会では、私たちが番組を制作する中で知ったことや感じたことを伝え、「ヤングケアラー」は私たちの身近にいる存在であることを知っていただきたいです。 また、もし身近にヤングケアラーや困りごとを抱えた人がいたとき、自分ならどのように関わることができるのかを考えるきっかけにいただけたらと思います。

会場のご案内

会 場	宮崎県企業局庁舎1階 『県電ホール』 宮崎市旭1丁目2-2 TEL 0985-26-9752 駐車場 防災庁舎の地下駐車場もしくは、企業局南側の立体駐車場をご利用ください。 ※満車の場合はお近くの有料駐車場をご利用ください。 
オンライン	■8/3(月)までに当日のログイン案内を送信いたします。 案内に従って、zoomウェビナーにご参加ください。 ■事前にzoomアプリのインストールが必要となります。 ■Wi-Fi接続等安定したネットワーク回線をご利用ください。

お問い合わせ

宮崎県子ども・若者総合相談センター「わかば」

☎ 0985-41-7832(10:00~17:00 ※木・日・祝日を除く)

✉ miyazaki-wakaba@ahc-net.co.jp

